



ジュニア ミュージアム



「命というものは大切」

皆野小4年

山中 煌琳さん



わたしは、4才ぐらいの時、おなかの病気で、二か月ぐらい入院して手じゅつをしたことがあり、とても悲しい思いをしました。けいけんを今でもおぼえています。

その日、病院に行った時、病気がとわかり、おなかい外にも手にほうたいをまかれたり、注しやをうたれたりしました。

そして、手じゅつの日。わたしは、「ごきごきするな。大丈夫かな。」と泣きそうに思いました。

そして、手じゅつがおわって目をさました時、「よかったです。」

と思いました。そして家族も「よかったです」と思っていたそうです。そしてお母さんが、「もう少少でお家にもどれるからね。」

と言ってくれました。でも、楽しみにしていたお祭りの花火はお母さんといっしょにまどから

みるしかなかったからととても悲しくなりました。そして一週間ぐらいて、家族が来てくれました。お母さんが、「ぬりえと、色えんぴつ持ってきたよ。」

と、買って持ってきてくれました。そして家族は夜までいてくれました。

「じゃあ、またあした、来るね。」

といい帰ってしまい、わたしは思いました。「いつほいく園の先生に会えるのかな。」

「いつお家にもどれるのかな。」とずっと思っていました。

そしてわたしは、病院からはなれ、お家にもどることができ、ぶじに保育園にもいけるようになり、「このことは手じゅつしてくれた先生のおかげだな。」

と思い命というものはとても大切なんだ、ということがあらためてわかりました。これからもけんこうで生きてられるようにしたいです。

命の大切さについて、改めて気付いた時の経験を、上手に文にすることができましたね。これからもその気持ちを大切にしていってください。

皆野小6年

大塚 美鈴さん



街角

小六 大塚 美鈴

字の中心を意識して、バランスよく、丁寧に書くことができましたね。

国神小3年

持田 晃成さん



小三 持田 晃成

「折れ」の筆づかいに気を付けて、ていねいに書けました。

「友達」

皆野中1年

豊田 紗里奈さん



(本人のコメント) 友達の明るい笑顔で優しさを表現しました。また背景には、友達の強さを表現しました。



「なかよしざりがに きょうだい」

三沢小1年

長島 千晏さん



えのぐやクレヨンでていねいにぬれましたね。



今月の題字

皆野中2年

黒澤 宣稀さん



児童の見守り放送

国神小4年

櫻井 香花さん

